



ま と は ら 的 原 神 社 の 楓 か え で  
VOL. 4

小高い森の中の静かで穏やかな空間  
木漏れ日が差し込む境内は癒しそのもの

的 という名のとおり、昔はここで流鏝馬<sup>やぶさめ</sup>が行われていたといわれる的原神社。許斐山<sup>このみやま</sup>のふもとの小高い森の中にあり、遠目には神社の姿は見えません。県道側から階段を上っていくと、およそ100m続く木のトンネルのような参道の奥に本殿が現れます。左手には折れてしまった巨木が一本。30mもの高さがあり、晩秋には真っ赤に色づいていたご神木の楓でしたが、落雷を受けて折れてしまいました。

2頭のこま犬が守るように座る境内には厳かな雰囲気漂い、大きく深呼吸してみると澄んだ空気に癒され、気持ちが安らぎます。



▲折れてしまったご神木の楓



「福津三十六景」とは

市が誇る優れた景観や伝統的な祭りの風景などのこと。上の写真は、こま犬に焦点を当て、光が降り注ぐ境内を撮影したものです。福津三十六景の写真は広報ふくつや市公式ホームページでも募集しています。投稿よろしくお願ひします。

福津三十六景を訪れる際は、交通ルールを守るなど、マナーアップを心掛けましょう。